

<2022年12月の屋上庭園>

12月になり今年もあっという間に一年が過ぎようとしています。
ガーデンは花が少なくなりすっかり寂しくなりました。

12月からつるバラの寒肥と誘因剪定にとりかかります。
葉っぱを落とし、枯れ枝や古い枝、細い枝を切って、長い枝をどこにどう誘引するか頭を悩ませながら誘因していきます。私はこの作業が大好きです。
この作業が、春の開花にはとても大切なことを知っているから。
葉を落とし、休眠に入ってもらって、その間に寒肥でゆっくり栄養補給してもらい、花芽の付きそうな充実した枝を残し剪定し、頂芽優勢の性質を活かすために誘引する。
全てに理由があって、とても大切なこと。

だから、夏に元気に伸びてくれた充実した枝や、立派な花芽となってくれそうな芽を見ているとたまらなく嬉しくなり、枝を誘引しながら春の開花を想像して楽しみで仕方なくなってくるのです。
そんなたくさんのガーデナーの思いが詰まっている冬の作業。
今も世界中のガーデナーが春を楽しみに冬作業をしてるんだらうな。
と思うとなぜかワクワクしてきます。



2022年最後のアスターが頑張っていました。

